
Fiery EX2000シリーズ / Fiery EXP6000 カラーサーバ

脆弱性修正プログラム(MS03-043)適用手順書

このたびは、Fiery EX2000/EX2000d、Fiery EXP6000カラーサーバをご利用いただき、まことにありがとうございます。

本書では、次の製品に対応した脆弱性修正プログラム(MS03-043)の適用方法について説明します。

- ・ Fiery EX2000 カラーサーバ
システムソフトウェアバージョン 1.22J
- ・ Fiery EX2000d カラーサーバ
システムソフトウェアバージョン 1.22J
システムソフトウェアバージョン 2.0J
- ・ Fiery EXP6000 カラーサーバ
システムソフトウェアバージョン 1.1J

なお、Fiery EX2000 カラーサーバ システムソフトウェアバージョン 1.1Jをお使いの場合には、修正プログラムを適用する前に、ソフトウェアバージョンをv1.2Jへアップグレードしていただく必要があります。アップグレードに関する詳細につきましては、弊社Color DocuTechシリーズ営業担当者までお問合せください。

補足：本書では、Fiery EX2000を「EX2000J」、Fiery EX2000dを「EX2000dJ」、Fiery EXP6000を「EXP6000」と、それぞれ略します。また、Fiery EX2000、Fiery EX2000d、Fiery EXP6000を総称して、Fieryカラーサーバと略しています。
「システムソフトウェアバージョン 1.22J」を「v1.2JJ」、「システムソフトウェアバージョン 2.0J」を「v2.0J」、「システムソフトウェアバージョン 1.1J」を「v1.1JJ」と略します。

脆弱性修正プログラム(MS03-043)について

Fieryカラーサーバでは、オペレーティングシステムとして、Windows NT[®] WorkStation Version 4.0を使用しています。

したがって、MS03-043の脆弱性が存在し、対策を行う必要があります。

当社提供のパッチソフトウェア（1-BY9BS.ps、または、1-C1Q00.ps）を、Fieryカラーサーバに適用してください。

注意：マイクロソフト株式会社のホームページに記載されている確認方法では、本パッチソフトウェアが正しく適用されたことを確認できません。
本書に記載された方法にてご確認ください。

マイクロソフト株式会社より提供されているMS03-043は適用できませんので、ご注意ください。

また、Fieryカラーサーバのバージョンにより、適用するパッチが異なります。

Fieryカラーサーバ本体のLCDに表示されるバージョンをご確認のうえ、対応したパッチを適用してください。

カラーサーバ	バージョン	LCDの表示	パッチソフトウェア	適用方法
EX2000	v1.2J	1.22J	1-BY9BS.ps	適用方法(A)
EX2000d	v1.2J	1.22J		
EXP6000	v1.1J	(表示なし)		適用方法(B)
EX2000d	v2.0J	2.0J	1-C1Q00.ps	適用方法(C)

EX2000/EX2000d v1.22Jでのパッチ適用方法 (A)

ここでは、次のFieryカラーサーバに対するパッチのインストール手順、およびパッチ適用の確認方法について説明します。

- ・ EX2000 v1.2J
- ・ EX2000d v1.2J

1. Fieryカラーサーバのデスクトップ上に、次のパッチソフトウェアをコピーしてください。

- ・ 1-BY9BS.ps

補足：パッチソフトウェアの入手方法については、弊社営業担当者にお問い合わせください。
また、パッチソフトウェアは、弊社ホームページにも提供しております。次のURL(アドレス)から、最新の情報をご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. 適用されているパッチソフトウェアがあるかどうかを確認します。

Command WorkStationの [サーバ] メニュー、[ページの印刷] から [設定情報ページ] を選択し、プリントします。

設定情報ページの [更新情報] に、次のパッチソフトウェア名がプリントされていた場合、そのパッチを適用する必要はありません。

- ・ 1-BY9BS

3. Command WorkStationを用いて、「1-BY9BS.ps」パッチを、[CDT60 直接接続] へダウンロードします。

「1-BY9BS.ps」パッチが処理され、Fieryカラーサーバ上で、「使用可能」になった後、60秒お待ちください。

4. システムを再起動します。

Fieryカラーサーバ本体の中心にある3つのボタンのうち、真ん中のボタンを押してLCDの表示を切り替えます。[終了] [システムのレポート]の順に選択します。

-
5. パッチが適用されたことを確認します。
自動的にシステムが2回再起動します。
システムの再起動後に、手順2を実施し、「1-BY9BS」パッチがプリントされていることを確認してください。

EXP6000 v1.1Jでのパッチ適用方法 (B)

ここでは、次のFieryカラーサーバに対するパッチのインストール手順について説明します。

- ・ EXP6000 v1.1J

1. Fieryカラーサーバのデスクトップ上に、次のパッチソフトウェアをコピーしてください。

- ・ 1-BY9BS.ps

補足：パッチソフトウェアの入手方法については、弊社営業担当者にお問い合わせください。

また、パッチソフトウェアは、弊社ホームページにでも提供しております。次のURL(アドレス)から、最新の情報をご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. 適用されているパッチソフトウェアがあるかどうかを確認します。
Command WorkStationの[サーバ]メニューから、[ページの印刷]を選択し、[設定情報ページ]をプリントします。
設定情報ページの[更新情報]に、次のパッチソフトウェア名がプリントされていた場合、そのパッチを適用する必要はありません。
 - ・ 1-BY9BS
3. Command WorkStationを用いて、「1-BY9BS.ps」パッチを、[CDT60 直接接続]へインポートします。
「1-BY9BS.ps」パッチが処理され、Fieryカラーサーバの表示が「使用可能」になった後、60秒お待ちください。
4. システムを再起動します。
デスクトップ上のスタートメニューから[シャットダウン]、[コンピュータを再起動する]の順に選択します。
自動的にシステムが2回再起動します。
5. パッチが適用されたことを確認します。
システムの再起動後に、手順2を実施し、「1-BY9BS」パッチがプリントされていることを確認してください。

EX2000d v2.0Jでのパッチ適用方法 (C)

ここでは、次のFieryカラーサーバに対するパッチのインストール手順について説明します。

・ EX2000d v2.0J

1. Fieryカラーサーバのデスクトップ上に、次のパッチソフトウェアをコピーしてください。

・ 1-C1Q00.ps

補足：パッチソフトウェアの入手方法については、弊社営業担当者にお問い合わせください。
また、パッチソフトウェアは、弊社ホームページにも提供しております。次のURL (アドレス) から、最新の情報をご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. 適用されているパッチソフトウェアがあるかどうかを確認します。
Command WorkStationの[サーバ]メニューから、[ページの印刷]を選択し、[設定情報ページ]をプリントします。

設定情報ページの[更新情報]に、次のパッチソフトウェア名がプリントされていた場合、そのパッチを適用する必要はありません。

・ 1-C1Q00

3. Command WorkStationを用いて、「1-C1Q00.ps」パッチを、[CDT60 直接接続]へインポートします。

「1-C1Q00.ps」パッチが処理され、Fieryカラーサーバの表示が「使用可能」になった後、60秒お待ちください。

4. システムを再起動します。

Fiery カラーサーバ本体の中心にある3つのボタンのうち、真ん中のボタンを押してLCDの表示を切り替えます。[終了] [システムのリブート]の順に選択します。

5. Windows NTが再起動したらログインし、デスクトップ上のスタートメニューから[シャットダウン]、[コンピュータを再起動する]の順に選択します。

6. パッチが適用されたことを確認します。

システムの再起動後に、手順2.を実施し、「1-C1Q00」パッチがプリントされていることを確認してください。

「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、
米国Microsoft Corporation (マイクロソフト社)の米国およびその他の国における登録商標です。

著作者	富士ゼロックス株式会社	発行年月	2003年12月 第1版
発行者	富士ゼロックス株式会社 ドキュメント プロダクト& サプライ カンパニー ヒューマンインターフェイスデザイン開発部	帳票 No.	ME3257J1-1